

令和4年度 第2回 和歌山市入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	令和5年2月6日(月) 和歌山市役所本庁舎14階 大会議室		
出席委員氏名	井伊 博行(委員長) 池田 裕明 後 亮 奥 智香子 齊藤 久美子 五十音順		
審議対象期間	令和4年4月1日～令和4年9月30日		
抽出案件(総件数)	都市建設局 2件 企業局 1件	議 事 1 入札及び契約手続の状況について 2 抽出事案について 3 その他 ・落札予定者辞退に伴う契約の相手方について	
一般競争入札 (事前審査型)	都市建設局 1件 企業局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(郵送方式))	都市建設局 1件 企業局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(持参方式))	都市建設局 1件 企業局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(電子入札方式))	都市建設局 2件 企業局 1件		
公募型指名競争入札	都市建設局 1件 企業局 1件		
指名競争入札	都市建設局 1件 企業局 1件		
随意契約	都市建設局 1件 企業局 1件		
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による建議の内容	なし		

令和4年度 和歌山市入札監視委員会（第2回）

（委員からの意見・質問、それに対する回答等）

【入札及び契約手続の状況について】	
（事務局）	（令和4年度分の入札及び契約手続の状況について説明）
（委員）	入札差金（予定価格と落札価格との差）の取扱いはどうなっているのか。別の工事で使用することはできるのか。
（事務局）	入札差金が生じた場合、変更契約や他の工事を発注する財源として事業促進に活用したり、不用額として減額補正し翌年度以降の財源として留保するなど、効率かつ適正な予算執行に努めている。
（委員）	一般競争入札における落札率の状況で、令和4年度から90%以上95%未満が増えた理由を再度説明してほしい。
（事務局）	国が低入札価格調査基準の計算式を改定し、今年度から一般管理費等の料率を55%から68%に引き上げたことに伴い、当市も7月に同様の見直しを行ったことが影響していると考えられる。
【抽出事案について】	
① 中之島横断歩道橋上下部工事	
（事務局）	（抽出事案の概要について説明） 落札率が100%の理由として、歩道橋の製作で多くの鋼材を使用するが、令和3年頃から資材価格が高騰してきており、いつまで高騰を続けるのか不透明な状況にあること、また、工事場所が5差路の交差点で交通量も多く、交差点の中心に横断歩道橋の橋脚がある変則的な形状をしており、複雑な交通規制が必要となるなど施工条件が厳しいことから、結果として落札率100%になったものと考えられる。
（委員）	横断歩道橋を設置しないといけない基準等があるのか。
（事務局）	法的なものではなく、地元地域の方々の要望で設置するケースがほとんどである。今回の場合、5差路の大きい交差点で、近隣の中之島小学校の通学路になっていることもあり、歩道橋を残してほしいという要望が多かったため、歩道橋を架け替えることになったようだ。
② 和歌山市あいあいセンター空調設備更新工事設計業務	
（事務局）	（抽出事案の概要について説明） 落札率が100%の理由として、空調設備の更新ということで、設備の設計がメインの業務となるが、当市に登録のある建築関係の設計事務所にも建築設備士など設備設計の資格を有する者が在籍しているところもあるが、実務上、設備設計の専門業者に依頼することが多いようである。そのため、本件のような設備設計をメインとする業務においては、経費の圧縮が困難で業者も敬遠したことで不

